

研究分野のキーワード：国語科教育，文学教育，日本近代文学，教材研究，文学理論

研究紹介

私の専攻は、国語科教育学です。小・中・高校の教員を目指す学生に国語教育の理論や歴史、授業について教えています。国語教育といっても、読むこと・書くこと・聞くこと・話すことなど領域に分かれますが、私は近現代の文学を読むことを中心に研究しています。最近の著作（共著）としては以下のものがあります。

- 『小学校国語科授業研究 第4版』（教育出版 2009）
- 『国語教育指導用語辞典』（教育出版 2009）
- 『文学の授業づくりハンドブック 第4巻』（溪水社 2010）
- 『新たな時代を拓く 中学校・高等学校国語科教育研究』（学芸図書 2010）
- 『梶井基次郎「檸檬」の諸相』（愛知教育大学出版会 2011）
- 『〈教室〉の中の村上春樹』（ひつじ書房 2011）
- 『国語教育総合事典』（朝倉書店 2011）

実際の授業について簡単にご紹介しましょう。

- ・国語科研究AⅡ・BⅡ（1年生） 国語教育の歴史・基礎理論・指導方法・教材研究の方法（『ごんぎつね』）
- ・国文学演習AⅡ（2年生） 宮沢賢治の童話を読む
- ・国語科教育CⅡ（3年生） 指導案の書き方・模擬授業
- ・国語科教育CⅣ（4年生） 文学教材の研究（ヘッセ『少年の日の思い出』、太宰治『走れメロス』、森鷗外『高瀬舟』、夏目漱石『坊っちゃん』、芥川龍之介『羅生門』、中島敦『山月記』など）

その他、大学院の授業とゼミナールも担当しています。本講座は2年生から所属研究室を決めます。ゼミは卒業論文の指導が主ですが、読書レポートを書いたり教材研究の発表をしたりもします。特色としては、丹藤が学校の先生方の研究会や講演に出掛けることが多いので、それに参加し在学中から現場の先生方に学び交流することが経験できるという点です。研究だけではありません。行事もあります。4月－花見会、7月－3年生丹藤杯争奪ボーリング大会、9月－4年生卒論合宿、11月－新人歓迎コンパ、2月－卒論発表会などです。毎年8名の卒業生を送り出していますが、ほとんど愛知県や名古屋市の公立小学校・中学校・高等学校に就職しています。大学院に進学したり公務員になったりする学生もいます。丹藤研究室は教員がスタジオリファンなため、研究室はジブリ系のグッズが多いのも特徴です。どうでもいいことかもしれませんが……。予約していただければ、研究室訪問も可能です。トトロの暖簾が目印です。

